

令和8年（2026年）6月4日（木）  
公益財団法人広島平和文化センター  
平和文化振興部平和文化企画課  
電話：242-8871 内線：5810  
担当：鉤流（つりゅう）、岡上

## 被爆者と高校生との共同制作による「原爆の絵」の 完成披露会を開催します

公益財団法人広島平和文化センターでは、広島市立基町高等学校の協力により、被爆者の記憶に残る光景を「原爆の絵」として制作する取組を行っています。これは、被爆者が自らの体験の中で特に強烈な印象を抱いた場面を高校生に話し描いてもらう、被爆者と高校生との共同作業であり、絵の制作を通じて、若い世代への被爆体験継承を図るものです。

令和7年10月から、広島市立基町高等学校普通科創造表現コースの生徒14人が、被爆者7人とともに「原爆の絵」の制作に取り組み、この度14作品が完成しました。ついては、次のとおり完成披露会を開催します。

### 1 日時

令和8年6月8日（月）15時45分～（1時間程度）

### 2 場所

広島市立基町高等学校西棟4階日本画教室（中区西白島町25-1 電話：221-1510）

入校については、必ず事前に同校に御連絡のうえ、許可を得てください。

※本完成披露会には、一般来場者の方は参加できません。

### 3 出席者

共同制作に携わった被爆者（別紙のとおり）及び基町高等学校普通科創造表現コースの生徒、教員、（公財）広島平和文化センター平和文化振興部長ほか

### 4 次第

- (1) （公財）広島平和文化センター平和文化振興部長挨拶
- (2) 広島市立基町高等学校長挨拶
- (3) 絵のタイトル・制作者の紹介
- (4) 被爆者と制作者の感想

### 5 制作期間

令和7年（2025年）10月～令和8年（2026年）6月

### 6 その他

完成作品は、被爆者が自らの証言活動で活用するとともに、被爆の惨状を後世に伝えるための資料として（公財）広島平和文化センターで保管します。

## 2025年度制作開始「原爆の絵」被爆体験証言者等リスト

	氏名	今回制作枚数	被爆時の状況
		これまでの制作枚数	
1	アライ シュンイチロウ 新井 俊一郎	2枚	中学1年生であった13歳の時、食糧増産で農村支援出勤先の東広島市から広島へ向かう途中、原爆炸裂の閃光を見て広島市内へ入った。
		3枚	
2	サイキ ミキオ 才木 幹夫	1枚	13歳の時、爆心地から2.2km離れた自宅で、外出するため靴を履こうとしたときに被爆。
		3枚	
3	タキグチ ヒデタカ 瀧口 秀隆	3枚	4歳の時、爆心地より1.8kmの自宅で朝食後、外にいたら飛行機の音がしたため急いで帰り、玄関の引戸を閉めようとしたときに被爆。
		8枚	
4	ナイトウ シンゴ 内藤 慎吾	1枚	6歳の時、爆心地から1.7km離れた自宅で、庭にある防空壕の入口で弁慶蟹を捕まえようとしやがんだときに被爆。
		2枚	
5	ヒロナカ マサキ 廣中 正樹	3枚	5歳の時、爆心地から3.5km離れた自宅前の小川で遊んでいたときに被爆。
		13枚	
6	ヤハタ ツトム 八幡 務	1枚	小学校4年生であった10歳の時、爆心地から2.5km離れた自宅の近くで遊んでいたときに被爆。
		0枚	
7	フキマス トモコ 脇舛 友子	3枚	3歳の時、母の実家がある安芸高田市から呉市の自宅へ車で戻る途中、原爆投下により車が止まり、母に背負われ、線路沿いに広島市内へ入った。
		3枚	

※五十音順、敬称略